



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 トナミホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9070 URL <http://www.tonamiholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 綿貫 勝介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 輪達 光春 (TEL) 0766-32-1073  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	58,427	2.8	1,282	1.1	1,415	1.8	790	△7.7
25年3月期第2四半期	56,847	△2.9	1,268	257.9	1,390	203.8	855	319.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 945百万円( 61.2%) 25年3月期第2四半期 586百万円( 475.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	8.71	—
25年3月期第2四半期	9.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	116,413	48,312	41.4
25年3月期	117,189	47,643	40.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 48,203百万円 25年3月期 47,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,900	0.9	3,000	8.4	3,300	8.2	1,890	5.9	20.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	97,610,118株	25年3月期	97,610,118株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,860,763株	25年3月期	6,857,237株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	90,752,009株	25年3月期2Q	90,762,020株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
4. 補足情報	13
事業別営業収益明細表	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日、以下「当第2四半期」という。)におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策などによる円安・株価上昇もあり、個人消費の一部改善や輸出環境の改善など明るい兆しが見える中、緩やかに回復しているものと見られます。

物流業界におきましても、消費関連貨物などの上昇基調や消費税増税を見越した駆け込み需要など国内貨物輸送量の拡大が期待される一方、輸出入関連需要の低迷や企業間競争の激化などもあり、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況下、当社グループの当第2四半期の経営成績は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の安定的収益確保、重点とする3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業をはじめとする関連事業の拡大につとめました結果、営業収益は58,427百万円と、前年同四半期に比べ1,579百万円(2.8%)の増収となりました。

また、利益面におきましては、昨年4月からスタートいたしました「中期経営3ヶ年計画」における「事業構造改革」の推進及び業容拡大により運営コストの増加など不安要因の吸収につとめました結果、営業利益は1,282百万円と前年同四半期に比べ13百万円(1.1%)の増益となりました。

経常利益は1,415百万円を計上し、前年同四半期に比べ25百万円(1.8%)の増益となりました。

四半期純利益は790百万円で、前年は固定資産売却益の計上もあり、前年同四半期に比べ65百万円(7.7%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

## ①物流関連事業

当第2四半期における物流関連事業は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業、3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業における既存顧客の受諾業務の拡大および新設拠点における新規顧客の開拓等につとめました結果、営業収益は53,937百万円と前年同四半期に比べ1,340百万円(2.5%)の増収となりました。

セグメント利益は、燃料価格の高止まりや下払料をはじめとするコスト負担要因の増加が懸念される中、重点とする3PL事業の収益性改善、主力の貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の業務効率向上によるコスト低減など、一層の事業構造改革の進展につとめました結果、982百万円を計上し、前年同四半期に比べ3百万円(0.3%)の増益となりました。

## ②情報処理事業

情報処理事業における営業収益は、新規・既存顧客の業容拡大もあって1,376百万円となり、前年同四半期に比べ271百万円(24.6%)の増収となりました。セグメント利益は92百万円を計上し、前年同四半期に比べ22百万円(31.7%)の増益となりました。

## ③販売事業

物品販売ならびに委託売買業、損害保険代理業等の販売事業における営業収益は2,759百万円となり、前年同四半期に比べ8百万円(0.3%)の増収となりました。セグメント利益は144百万円を計上し、

前年同四半期に比べ20百万円(16.3%)の増益となりました。

その他では、自動車修理業、ダイレクトメール業等で営業収益353百万円を計上しましたが、前年同四半期に比べ41百万円(10.4%)の減収となりました。

セグメント利益は46百万円で、前年同四半期に比べ11百万円(20.0%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

総資産は116,413百万円となり、前連結会計年度に比べ775百万円(0.7%)減少しました。これは主として流動資産で営業未収入金が1,011百万円減少した一方で、たな卸資産が357百万円増加したことなどによります。

負債は68,100百万円となり、前連結会計年度に比べ1,445百万円(2.1%)減少しました。これは主として流動負債で営業未払金が1,008百万円、1年以内償還予定の社債が3,000百万円、固定負債で長期借入金が1,007百万円減少した一方で、短期借入金が3,875百万円増加したことなどによります。

純資産は48,312百万円となり、前連結会計年度に比べ669百万円(1.4%)増加しました。これは主として四半期純利益を計上するなどして利益剰余金が517百万円増加したことなどによります。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度の40.6%から41.4%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ141百万円減少し、9,504百万円となりました。これは営業キャッシュ・フローの増加と、投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少によるものであります。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,513百万円の収入となりました(前年同四半期に比べて1,106百万円の増加)。これは主に減価償却費2,149百万円と売上債権の減少による収入が1,314百万円あった一方で、仕入債務の減少による支出が1,281百万円あったことなどによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,412百万円の支出となりました(前年同四半期に比べて589百万円の支出増加)。これは主に有形固定資産の取得による支出が1,516百万円あったことなどによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,242百万円の支出となりました(前年同四半期に比べて453百万円の支出増加)。これは主に短期借入金の増加が3,875百万円、長期借入金の増加が2,000百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が2,579百万円、社債の償還による支出が3,000百万円、リース債務の返済による支出が1,261百万円あったことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は回復基調にあるものの、東アジア地域での国際的緊張関係の継続、消費税増税による負担増、不安定な為替相場など、先行き不透明な状況が継続するものと思われまます。

また、物流業界におきましても、生産拠点の海外移転等による生産関連貨物の減少、燃料価格の高騰など、引続き厳しい事業環境が予測されます。

このような情勢の中、当社グループは中期経営3ヶ年計画の2年目として、重点取組骨子のひとつでもある「事業構造改革」の着実な進展をはかってまいります。

現状、当社グループの第2四半期の業績は概ね当初計画に沿って進展しており、通期の業績について、現時点では平成25年5月9日に公表しました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,701	9,554
受取手形	3,349	3,092
営業未収入金	16,842	15,831
たな卸資産	546	904
繰延税金資産	527	458
その他	2,636	2,689
貸倒引当金	△65	△52
流動資産合計	33,538	32,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,684	21,382
機械装置及び運搬具(純額)	2,130	2,106
土地	41,085	41,111
その他(純額)	6,955	7,312
有形固定資産合計	71,856	71,912
無形固定資産		
のれん	19	23
その他	748	747
無形固定資産合計	768	771
投資その他の資産		
投資有価証券	6,551	6,844
破産更生債権等	161	186
その他	4,707	4,738
貸倒引当金	△392	△517
投資その他の資産合計	11,026	11,251
固定資産合計	83,651	83,936
資産合計	117,189	116,413



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	936	707
営業未払金	10,405	9,397
短期借入金	10,390	14,265
1年内返済予定の長期借入金	3,104	3,531
1年内償還予定の社債	3,000	—
未払法人税等	607	502
未払消費税等	491	409
賞与引当金	809	836
その他	6,535	6,185
流動負債合計	36,279	35,834
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	4,480	3,473
再評価に係る繰延税金負債	4,694	4,694
退職給付引当金	12,817	12,519
役員退職慰労引当金	117	101
負ののれん	153	114
繰延税金負債	317	508
その他	5,685	5,854
固定負債合計	33,266	32,266
負債合計	69,546	68,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,682	11,682
利益剰余金	16,516	17,034
自己株式	△2,018	△2,018
株主資本合計	40,363	40,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	997
土地再評価差額金	6,326	6,326
その他の包括利益累計額合計	7,172	7,323
少数株主持分	107	109
純資産合計	47,643	48,312
負債純資産合計	117,189	116,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	56,847	58,427
営業原価	52,529	53,949
営業総利益	4,318	4,477
販売費及び一般管理費	3,050	3,195
営業利益	1,268	1,282
営業外収益		
受取利息	99	86
受取配当金	65	70
受取家賃	70	48
負ののれん償却額	38	38
持分法による投資利益	30	33
その他	119	107
営業外収益合計	424	385
営業外費用		
支払利息	237	207
その他	64	43
営業外費用合計	302	251
経常利益	1,390	1,415
特別利益		
固定資産売却益	227	80
受取保険金	56	—
その他	8	5
特別利益合計	291	86
特別損失		
固定資産売却損	5	7
固定資産除却損	15	37
投資有価証券評価損	10	1
ゴルフ会員権評価損	—	18
災害による損失	43	10
その他	26	18
特別損失合計	101	93
税金等調整前四半期純利益	1,581	1,409
法人税、住民税及び事業税	411	437
過年度法人税等	112	—
法人税等調整額	190	176
法人税等合計	714	614
少数株主損益調整前四半期純利益	866	794
少数株主利益	10	4
四半期純利益	855	790

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	866	794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△278	150
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	△279	151
四半期包括利益	586	945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	576	941
少数株主に係る四半期包括利益	9	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,581	1,409
減価償却費	2,029	2,149
有形固定資産除売却損益(△は益)	△206	△35
投資有価証券評価損益(△は益)	10	1
ゴルフ会員権評価損	0	18
のれん及び負ののれん償却額	12	△29
持分法による投資損益(△は益)	△30	△33
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	112
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△639	△298
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△34	△16
賞与引当金の増減額(△は減少)	32	27
受取利息及び受取配当金	△165	△157
支払利息	237	207
売上債権の増減額(△は増加)	1,049	1,314
たな卸資産の増減額(△は増加)	△358	△357
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,229	△1,281
未払消費税等の増減額(△は減少)	168	△83
その他	△570	313
小計	1,902	3,260
利息及び配当金の受取額	165	157
利息の支払額	△275	△250
法人税等の支払額	△385	△652
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,407	2,513
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△22	△22
定期預金の払戻による収入	22	28
有形固定資産の取得による支出	△1,453	△1,516
有形固定資産の売却による収入	573	141
投資有価証券の取得による支出	△37	△41
投資有価証券の売却による収入	1	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	6
貸付けによる支出	△118	△208
貸付金の回収による収入	226	147
その他	△15	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△823	△1,412

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	987	3,875
長期借入れによる収入	65	2,000
長期借入金の返済による支出	△644	△2,579
社債の償還による支出	—	△3,000
リース債務の返済による支出	△1,013	△1,261
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△181	△272
少数株主への配当金の支払額	△1	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△789	△1,242
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△206	△141
現金及び現金同等物の期首残高	8,591	9,645
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,385	9,504

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	52,596	1,104	2,751	56,452	395	56,847	—	56,847
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	12	132	2,402	2,546	398	2,944	△2,944	—
計	52,608	1,236	5,153	58,999	793	59,792	△2,944	56,847
セグメント利益	979	69	124	1,173	58	1,231	37	1,268

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額37百万円にはセグメント間消去355百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△318百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	53,937	1,376	2,759	58,073	353	58,427	—	58,427
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	11	148	2,451	2,610	387	2,998	△2,998	—
計	53,948	1,524	5,211	60,683	741	61,425	△2,998	58,427
セグメント利益	982	92	144	1,218	46	1,265	16	1,282

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額16百万円にはセグメント間消去358百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△341百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## 事業別営業収益明細表

(単位：百万円)

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
物流関連事業	(52,596)	(92.5)	(53,937)	(92.3)	(1,340)	(2.5)
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	40,320	70.9	41,329	70.7	1,009	2.5
倉庫事業	9,250	16.3	9,885	16.9	635	6.9
港湾運送事業	3,026	5.3	2,721	4.7	△304	△10.1
情報処理事業	(1,104)	(1.9)	(1,376)	(2.4)	(271)	(24.6)
販売事業	(2,751)	(4.9)	(2,759)	(4.7)	(8)	(0.3)
その他	(395)	(0.7)	(353)	(0.6)	(△41)	(△10.4)
合計	56,847	100.0	58,427	100.0	1,579	2.8

(注) その他欄には、自動車修理業、ダイレクトメール業、その他事業の各収入を含めて表示しております。